

文京区は2050年「ゼロカーボンシティ」を目指し、地球温暖化対策を推進していきます

2050年「ゼロカーボンシティ」の表明

文京区は、令和2年3月に改定した「文京区地球温暖化対策地域推進計画」において、区の目指すべき将来の社会の姿として「クールアース文京都市ビジョン」を掲げ、将来的な脱炭素社会を目指して気候変動対策を進めてきました。

こうした中、近年経験したことのない豪雨や猛暑等の異常気象による被害が各地で発生し、国際的な枠組みで取り組んでいる地球温暖化対策に区としても積極的に取り組む必要があることから、令和4年2月文京区議会定例議会区長施政方針において、2050年までに二酸化炭素排出量をゼロにするゼロカーボンシティを目指すことを表明しました。

文京区地球温暖化対策地域推進計画 概要











計画の方向性

- 目標を区民・団体、事業者、区のあらゆる主体で共有し、文京区の特성에合わせて一体となって取組を進めていきます
- 将来にわたって持続可能な都市の発展を実現していくために、脱炭素のまちを目指して二酸化炭素排出量の削減に努めます
- より安全で快適、賑わいや活気にあふれたまちと暮らしを将来に引き継ぐため、気候変動の影響に適切に対応していきます

文京区における事業者の行動計画（アクションプラン）

クールアース文京都市ビジョンを達成するため、以下の5分野のアクションプランを推進します。また、各アクションプランに主に関連するSDGsのゴールを設定しました。

アクションプラン		主に関連するSDGのゴール
① 省エネルギーの推進	事業活動における環境配慮行動	 
② 再生可能エネルギー等の利用促進	再生可能エネルギー利用・先進的なエネルギー利用	 
③ スマートシティの推進	環境に配慮した交通手段 環境に配慮したまちづくり	 
④ 循環型社会の形成	事業系ごみの3R	 
⑤ 気候変動の影響への適応	自然災害対策 健康被害に関する対策 暑熱対策 自然生態系に関する対策	